

委員会発案第5号

地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

上記の議案を別紙のとおり会議規則第14条第2項の規定により提出します。

平成23年9月21日 提出

由利本荘市議会議長 渡部 功 様

提出者 由利本荘市議会総務常任委員会

委員長 村上 亨 ㊟

(別 紙)

地方財政の充実・強化を求める意見書（案）

東日本大震災によって、東北・関東では多くの自治体が甚大な被害を受けました。今後は、自治体を中心とした復興が求められる。また、全国のエコノミクス状況は、依然として停滞しており、地域の雇用確保、社会保障の充実など、地域のセーフティネットとしての地方自治体が果たす役割はますます重要となっている。

特に、地域経済と雇用対策の活性化が求められるなかで、介護・福祉施設の充実、農林水産業の振興、クリーンエネルギーの開発など、雇用創出と確保を結びつけ、これらの政策分野の充実・強化が求められている。2011年度政府予算では地方交付税について、総額17.5兆円を確保しており、2012年度予算においても、震災対策費を確保しつつ、2011年度と同規模の地方財政計画・地方交付税が求められている。

このため、2012年度の地方財政予算全体の安定確保にむけて、政府に次の通り対策を求める。

記

1. 被災自治体に対する復興費については、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を十分に講ずること。
2. 医療、福祉分野の人材確保をはじめとするセーフティネット対策の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、2012年度地方財政計画・地方交付税総額を確保すること。
3. 地方財源の充実・強化をはかるため、国・地方の税収配分5：5を実現する税源移譲と格差税制のための地方交付税確保、地方消費税の充実、国の直轄事業負担金の見直しなど、抜本的対策を求めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年9月 日

内閣総理大臣 様  
内閣官房長官 様  
総務大臣 様  
財務大臣 様  
経済産業大臣 様  
経済財政政策担当大臣 様  
厚生労働大臣 様

秋田県由利本荘市議会議長 渡 部 功